

“桑名市版”保育現場充実パッケージ

～市長カフェ（市長と保育士との座談会）において～

参加した保育士の主な意見

- 子どもたちの日々の成長が感じられ、保護者とともに喜びあえることがやりがいにつながっている。

【保育士として今後も長く働くための希望について】

- 保育で余裕を持てるような配置基準の改善。
- 給与面について、責任や業務量に応じた給与体系の見直し。
- 発達支援に関する専門職の配置や余裕のある人員配置の改善。
- 保育士確保のため、若い保育士の離職防止、保育のやりがい等PR。
- 事務作業等が多く、本来業務の保育に重心を置くための環境改善。
- 経験年数に応じた研修機会や、他園との交流の場の提供。



“桑名市版”保育現場充実パッケージの策定



本物力こそ桑名力

保育現場の課題を踏まえて、
令和6年度より保育士確保に向けた新たな支援策や
保育現場における配置基準の緩和策、労働環境の改善
に向けた支援策などを盛り込んだ

“桑名市版” 保育現場充実パッケージ を策定！

子ども達が安心して過ごせるような保育環境を
整えるとともに、子どもの日々の成長を支える
保育士を応援していきます！



【子ども達の保育環境充実と現場で従事する保育士等を応援】

“桑名市版”保育現場充実パッケージ



本物力こそ桑名力

1. 保育士等の人材確保に向けた支援策

保育士等人材確保推進事業費 令和6当初予算額 6,456万5千円

2. 現場で働く保育士等の就労継続を応援する支援策

保育士等就労継続応援事業費 令和6当初予算額 1,500万円

3. 配置基準の緩和や労働環境改善に向けた市独自の人件費補助

手厚い保育士配置応援事業費 令和6当初予算額 7,000万円

4. 園でのおむつ回収とサブスクの推進に向けた支援策

おむつの回収とサブスクリプション導入事業費 令和6当初予算額 795万3千円

5. 全員参加型の保育環境づくり

全員参加型保育環境づくり事業費 令和6当初予算額 636万5千円

6. 保育の質の確保に向けた評価システムの推進

第三者評価促進事業費 令和6当初予算額 285万円

予算総額

1億6,673万3千円



保育士等人材確保推進事業費

令和6年度当初予算額

6,456万5千円

- ① 《継続》 修学資金貸付
- ② 《新規》 住宅等就職応援一時金支給
- ③ 《新規》 保育士等紹介キャンペーンの実施
- ④ 《新規》 保育現場等PR事業
- ⑤ 《新規》 民間事業者との連携協定事業



保育士等人材確保推進事業費

① 《継続》 修学資金貸付

保育士等を目指す方に、市内の就学前施設従事を要件に保育士等養成施設の修学資金の貸付を行う。

桑名市保育士等修学資金貸付制度

対象者

- 養成施設等において修学する者
- 養成施設等を卒業後、市内の認可保育所等において保育士等として勤務する意思がある者
- 保育士等の養成を目的とする他の貸付等を受けていない者

内容

金額：月額5万5千円 ※1人につき132万円を限度とします
期間：2年間を限度とし、養成施設等に在学する期間
利子：無利子 ※定められた期日までに返還しない場合、延滞利子の支払い義務発生

時期

募集時期は毎月末頃〆切予定



保育士等人材確保推進事業費

② 《新規》住宅等就職応援一時金支給

保育所等に就職する新規保育士及び潜在保育士等を対象に、就職や転入のための準備に必要な費用を補助することにより、保育士等の確保を図る。

(上限：市内10万円、転入25万円)

【就職準備金（市内居住者）】

(対象者) 新たに桑名市内の認可保育園（私立）等で勤務をされる方

(支給額) 10万円

※三重県社会福祉協議会の「保育士就職支援準備金貸付制度」を利用していてもOK

【就職準備金（市外居住者）】

(対象者) 市外に住んでいて、市内の保育所等に就職することで市内へ転居される方

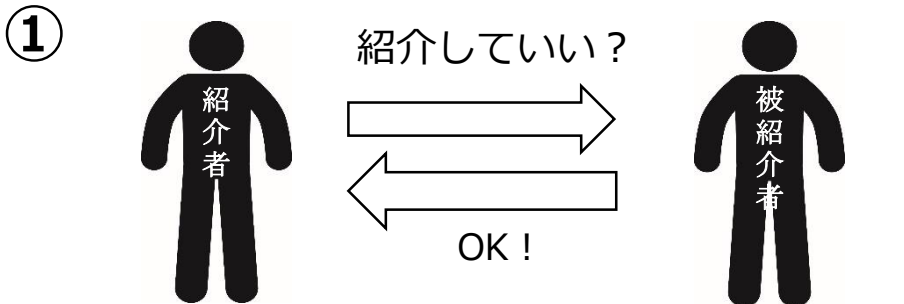
(支給額) 25万円

※採用日の前1ヶ月の属する月の初日から勤務開始後3か月が属する月の月末までに転入された方

保育士等人材確保推進事業費

③ 《新規》保育士等紹介キャンペーンの実施

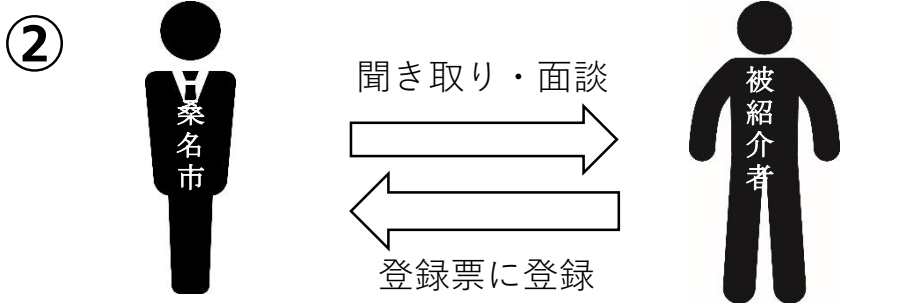
保育士資格を持っている方等を対象に、知人や親族等からの紹介を受けて、桑名市の保育士登録票等に登録すると、紹介者、登録者双方にキャッシュバックがもらえるキャンペーンを実施。また、私立保育園等において保育士等の求人希望がある場合、登録した保育士等の希望に沿ってマッチングさせる。



紹介したい方がいたら、被紹介者に必要事項を確認して、市に紹介する。



希望の就労条件に合う保育園や幼稚園、認定こども園を市でマッチングし、お互い納得したら就職となります。



市から被紹介者に聞き取りを行い市の保育士登録票に登録する。登録が完了したら、紹介者と被紹介者にそれぞれ3,000円贈呈。



被紹介者が本事業の就労条件で半年以上就労したら、紹介者と被紹介者にそれぞれ10,000円贈呈。

保育士等人材確保推進事業費

④ 《新規》 保育現場等PR事業

修学資金貸付の内容や保育の仕事をわかりやすくPRするため、パンフレット等を作成し、高校生等に対し保育士の魅力を発信する。また、SNSを活用し、公立、私立の保育現場の様子を広くPRする。

⑤ 《新規》 民間事業者との連携協定事業

“桑名市版” 保育現場充実パッケージ等について、県内外において広く周知を図るため、日本最大級の保育士専門就職転職サービス「保育士バンク！」を運営する株式会社ネクストビートとの間で連携・協力に関する協定の締結し、情報発信を行っていく。





保育士等就労継続応援事業費

令和6年度当初予算額 1,500万円

保育所等の保育定員を確保し、待機児童の発生を抑制することや円滑な保育運営のため、必要な保育士等の人材の確保及び定着を目的とする。

(対象者)

桑名市内の就学前教育・保育施設で継続して就労し、3年以上4年目・5年以上6年目・7年以上8年目・10年以上11年目・15年以上16年目を迎えられた方

(支給額) 10万円

※15年以上16年目を迎えられた方の支給額は20万円

※対象者は、保育士資格または幼稚園教諭普通免許状を保持し、1日6時間以上月20日以上勤務の者

※令和6年4月1日時点でその年度内に何年以上勤務になるのかで、補助対象者を決定する。

手厚い保育士配置応援事業費

令和6年度当初予算額 7,000万円

市内の保育施設における保育士配置基準緩和や保育士のノンコンタクトタイムや休暇取得の促進を図るため、手厚い配置をするために保育士を採用した園に対して、その人件費の補助を行うことにより、就学前施設全体の保育環境の改善を図る。

【補助内容】

保育士の人件費を、1園につき上限4,000千円まで補助

常勤保育士 $4,000\text{千円} \times 15\text{園} = 60,000\text{千円}$

非常勤保育士 $2,000\text{千円} \times 5\text{園} = 10,000\text{千円}$

【実施時期】

令和6年4月～ 事業開始



おむつの回収とサブスクリプション導入事業費

令和6年度当初予算額 795万3千円

保護者と保育士の双方の負担軽減のため、市内の公立保育所において、おむつの園での回収とおむつのサブスクリプションの推進を図る。また、私立の保育施設において園でのおむつを回収に対する経費の一部の補助する。

【実施時期】

○公立保育所

令和6年6月頃より順次開始

○私立保育園等

令和6年4月～事業期間開始





全員参加型保育環境づくり事業費

令和6年度当初予算額 636万5千円

- ① 《拡充》 保育士等の研修機会確保と交流促進
- ② 《新規》 民間と連携した巡回相談・発達支援
- ③ 《新規》 テーマごと（言語聴覚士・看護師など）の意見交換会実施（施設訪問型）
- ④ 《新規》 保育士等専用ダイヤルの設置



全員参加型保育環境づくり事業費

① 《拡充》 保育士等の研修機会確保と交流促進

市内の公立・私立の園に従事する保育士等を対象とした交流やワークショップを開催し、現状の課題や理想とする保育環境について共に語り合う機会をつくり、組織を超えた横の連携を図る。また、民間事業者が提供するオンライン研修を採用し、各園における研修受講の機会を拡充する。

② 《新規》 民間と連携した巡回相談・発達支援

発達支援として、児童発達支援センターと連携した巡回支援等を行う。また、保育の質の確保・向上、保育士にとって働き甲斐のある環境整備を図るため、民間事業者による巡回相談及び支援を実施する。



全員参加型保育環境づくり事業費

③ 《新規》テーマごと（言語聴覚士・看護師など）の意見交換会実施（施設訪問型）

市内の就学前施設からの希望に応じて、市役所に所属する言語聴覚士、看護師、歯科衛生士、保育士、社会福祉士等の専門職を施設に派遣し、保育実践、障害児保育・発達支援、看護・保健衛生、などのテーマに応じた講話や意見交換会を実施する。

④ 《新規》保育士等専用ダイヤルの設置

子どもの関わりに不安を感じるなどの悩みを持つ保育士等に対して、その相談先となる保育士等専用ダイヤルを設置し、不安の解消や対応策について、ともに考える等相談支援することで、保育の向上や保育士等の離職防止等につなげていく。

第三者評価促進事業費

令和6年度当初予算額 285万円

すべての公立保育所で運営体制や保育内容を評価する第三者の評価促進を図る。また、私立の保育施設においても第三者評価を取り入れた園に対して、国の加算額を超えた費用を市独自の補助を行い、運営体制等の点検できる機会の確保を促進する。

【事業の詳細】

三重県が「みえ福祉第三者評価機関認証要綱」及び「みえ福祉第三者評価機関認証実施要領」により認証を決定したみえ福祉第三者評価機関による受審を基本とする。

○公立保育所：年度ごとに3園または4園の受審を想定。（全7園）

○私立保育園等：年度ごとの補助対象を11園までとする。（全22園）

＜参考＞ 令和6年度保育施設の変更点



「認定こども園令のかぜ」（長島町）令和6年4月開設

⇒旧西川保育園と旧西川第二保育園とを統合し、認定こども園として開設

定員：135名（1号認定含む）

保育園から保育園型認定こども園に移行

養泉寺保育園 90人 ➡ 96人

利用定員の変更 令和5年度➡令和6年度

和泉保育園 130人 ➡ 120人

大山田東保育園 140人 ➡ 120人

大山田北保育園 150人 ➡ 120人

認定こども園くわな幼稚園 255人 ➡ 248人